

## 036 左坐骨神経痛

男性 六十九歳

主訴 左腰～臀部～下肢にかけての痛みとしびれ

現症 左腰～臀部～下肢にかけて痛み、しびれがあり、何年も前から腰の張りを感じていた。今回の痛みはここ約2ヶ月からひどくなったようである。

所見 体型は固太りタイプで、人当たりがよく如才ない感じ。L2～4の棘突起の狭小がある。他に貧血症で鉄剤を服用しているという。

脈は「やや虚」、逆証の脈かなと思いつつ、腹証は皮下脂肪の張りがある位で著明な反応はない。

処置 扁桃、帯脈、左坐骨、虚血各処置をする。術後、楽になったというが芯の痛みがあるとのこと。

経過 4回目（10日目）が終わった頃に「虚脈」がなくなり、芯の痛みはまだ残っているが、薄らいでいる感じがするという。この後も帯脈を入念にやっていった。治療を始めて1ヶ月近く（9回目）で、芯の痛みがなくなり、下肢のしびれも消えうせていた。

（「帯脈」の解説→症例038）